

「今後は共同物流に注力していく。このためのプラットフォームを構築していきたい」と語るのはイーカーゴ(東京都港区)の鈴木清社長(59)。秋元運輸倉庫(秋元伸介社長、港区)やイーソーコ(遠藤文社長、同)との共同物流を手掛けるため、2020年秋以降に倉庫スペースを確保する計画。他の物流会社にも共同物流への参画を促して事業を伸長させていく方針だ。



イーカーゴ社長
鈴木 清氏

共同物流事業に注力

輸倉庫とイーソーコの共同出資によって16年2月に設立。同氏は設立と同時に現職に就いている。

「物流不動産という言葉が生まれる前から、イーソーコでは物流不動産ビジネス

を手掛けてきたが、今ではメジャーな事業となった。しかし、まだ周知していかなければならず、その戦略の一つが新会社の設立だ。また、ディベロップによる物流施設は供給過多と言われていたが、各案件に対する成約率は高くなっている。我々としては、中小の同業者の倉庫をマッチングする事業を進めている」

イーカーゴでは倉庫・運送を軸にしつつ、物流不動産ビジネスを推進。秋元運輸倉庫の有する資産や事業



倉庫スペース確保へ

ここ2年間で延べ床面積を4950平方メートルほど増やした。2月には東京都の大井地区で床面積3960平方メートルの倉庫を確保。秋元運輸倉庫で運営を行いつつ、イーソーコとイーカーゴで営業を担っていく。

また、3社による共同物流拠点として、20年秋以降に3960平方メートルの倉庫スペースを取得する計画。「物流は無くならないが、物流事業は無くなる」と言われる中で、同氏は共同物流と人材育成の重要性を訴える。他の運送会社に声を掛けるなどして環を上げていき、共同物流事業の伸長に注力していく。(井内亨)

を強みにしつつ、物流不動産の仲介事業を手掛けている。秋元運輸倉庫では賃貸倉庫の増床を進めており、